

R3年度第5回朝倉市復興推進委員会 議事要旨(案)

1) 日時

令和3年4月27日（火） 10:00～11:30

2) 場所

旧甘木・朝倉市町村会館 大会議室

3) 参加者

別紙参照：第5回朝倉市復興推進委員会 配席表

4) 式次第

1. 開会
2. 市長挨拶

本日は第5回朝倉市復興推進委員会に、公私共にお忙しい中にご出席いただき感謝申し上げます。

未曾有の被害をもたらした平成29年7月九州北部豪雨災害から3年10ヶ月を迎えようとしている。

私は、就任当初から、「ふるさとあさくらを取り戻す」の理念のもと、復旧・復興に全力で取り組んでいる。また、国、県、市総力を挙げて復旧事業等に励んでいるところである。

今月になるが4月6日に災害後76回目となる災害復旧関係機関定例会に参加させていただいた。4月16日には国、県それぞれの事業所の責任者も出席いただく中で、担当者から直接、事業の進捗状況を伺い市内全体の災害現場を見て回った。

具体的に申し上げますと、それぞれの事業者による復旧事業は、正に被災者の皆様方、あるいは朝倉市民の皆様方の目に見える形で復旧・復興に向かって進んでいることを実感していただけるような状況となっている。それぞれの事業者の復旧・復興に向けた意気込みを極めて強く感じさせていただいたし、私そして市の関係者においても更にスピードを上げていくということを改めて決意をしたということが言えると思う。今後とも力を合わせて災害復旧に奮起する気概を持って頑張っていこうとお互い確認した。

生活再建支援については多くの被災者の再建が進んできましたが、今後も最後の一人までフォローアップをしっかりと進めていく。

本日は生活再建の取組み、災害復旧事業の取組み、復興の取組みについてご議論をいただくところである。特に復興の取組みについては、復興施策の具体化を進めるため復興実施計画を取りまとめました。その内容について中心に、本日はご議論いただくことを願います。

この場をお借りして申し上げます。感染拡大が続く禍の中、朝倉市においても、中学校でクラスターが発生する等、予断を許さない状況にある。

本日のこの会議においても、当初予定していた市職員そして関係機関の出席を最小限にさせていただいた。感染拡大の防止に最善を尽くすとともに、市民一人ひとりが、「いつどこでだれが感染してもおかしくない」という現状を強く認識し、行動いただきたいことを願います。

ワクチン接種については、接種いただく医療関係者とこれまで緊密な連携を取りながら、具体化に向けて準備を進めているところである。ワクチンの接種は今のところ遅れているということであるが、接種券を高齢者の皆様に先週送付したところ。6月になってすぐ市民の皆様に接種していただくという段階に入っている。まずは高齢者施設の皆様に接種していただくことになる。この件についても、皆様のご理解と格段のご協力をお願いする。

本日は大切な委員会ですので、色々なご意見をいただき活発な会議となること、そして皆様方の意見を今後の施策に反映させていきたいと思っておりますのでよろしくご意見申し上げて挨拶とさせていただきます。

3. 新委員紹介

4. 議事

- (1) 生活再建の取組み
- (2) 災害復旧事業の取組み
- (3) 復興の取組み（朝倉市復興実施計画について）
- (4) その他

5. 閉会

5) 開催状況写真



第5回朝倉市復興推進委員会 開催状況写真

6) 議事要旨

- ・事務局より、新委員の紹介があった。新委員は以下の通り。

久喜宮地域コミュニティ協議会 都甲 精治

朝倉青年会議所 四ヶ所 大輔

- ・朝倉市より①～③を説明した。

① 生活再建の取組みについて

② 災害復旧事業の取組みについて

③ 復興の取組みについて（朝倉市復興実施計画について）

【質疑応答】

① 生活再建の取組みについて

- ・特になし

② 災害復旧事業の取組みについて

- ・河川の復旧に関連して、荷原川の橋の架け替えについて入札にて安い金額で請け負う業者が決まるのが普通だが、今回は貧乏くじをひいたところが、請負っていると聞いた。利益率が低いということだろうと思っている。心配しているのは、そういう状況で請け負った場合、望んでいるような工事内容で復旧できるのかということである。手抜き工事が発生すれば大変なことである。徹底した監視をお願いしたい。 **（委員）**

→災害復旧工事は現場まで行くのに時間の掛かる場所、調整が必要な場所等があり、どの事業者も苦慮しているというのは聞いている。ただ、請け負っていただいた以上は所定の安全性をもって完成しなければならない。発注者、受注者とも抜き取りなく仕事されるものと信じている。このような心配事があったというのは関係機関には伝えておく。 **（復興推進室）**

- ・工事が進んでおり、完了率の数字が出ている。おかげでかなりの事業が進んでおりますけれども、予定の期間に終了するのかその点についての考えをお願いする。 **（委員）**

→目標期間であるが、河川は概ね5年間が目途となっている。5年目というのは令和3年度である。砂防は翌年度である令和4年ということになる。事業によって違いはある。区画整理型の農地は河川が終わってからというものもある。治山については、10年目標である。ただ、国、県が進めているというのは概ね5年。工事の進捗はしているが、関係地権者との交渉に時間を要しているという事実もある。1日も早く終わるよう関係機関と連携していくので、ご理解、ご協力をお願いする。

また、市は特に河川事業者に対して、復旧事業が完了するまでは、朝倉市内の事業所においてやり遂げてもらいたい事を強く申し入れたところである。事

業者においてもそのような考えであると約束したところである。(復興推進室)

復興の取組みについて(朝倉市復興実施計画について)

- ・内水対策だが、筑後川本流の土砂の堆積をどうするか。本日は国の担当者は来ていないが、市も問題を認識していただいて、現地調査なり国への働きかけをしていただきたい。(委員)

→ 私たちも同様な認識をしている。内水対策については朝倉地域の筑後川が流れている箇所として長湫地区を中心として現地調査もしているところである。県の朝倉農林事務所と一緒に何か方法がないか、改修等含めて軽減できないか検討を進めているところである。ハード的な対策として筑後川と桂川等支川を含めて河川から流れ込んでくることを防ぐことが第一。

宅地の浸水を防ぐことを目標に進めている。ただ、川に囲まれた地域なので上流から溢れてくるもの、あるいは雨によって河川の水位が高くなると水はけが悪くなってしまう。こういう地域であるので対策は難しいのだが、河川の河床を下げるという事、内水の解消の方法を検討しているところであるが、まずは河川を仕上げる。次に軽減できないか、せめてハウスが浸かることは軽減できないか検討しているところである。

筑後川の浚渫についても5月に市長、河川事務所の所長による意見交換会を予定しており、その重要項目として取り上げる予定である。具体的に浚渫の計画を求めている。(復興推進室)

③ その他

- ・あれだけ大きな災害を経験したのだから教訓を残していかなければならない。ボランティアの力を最大限に引き出すための環境整備を市と社協が一体となって進めていただきたいと思う。また、是非この体験を情報発信していただきたいと思っている。

2つ目にボランティアセンターに来たボランティアの方の仕事が限られている。市の災害マニュアルにボランティアの用途一覧が16項目書かれているが、そこに被災家屋からの瓦礫、土砂撤去が書かれていない。一方、県のマニュアルは全く同じ文書があるが17項目あり、そこには被災家屋からの瓦礫、土砂撤去が書かれている。それを踏まえて災害対策マニュアルの見直しを行っていただきたい。(委員)

→ 災害マニュアルの項目についてはまずは確認をさせていただきたい。そのうえで内容については是正させていただきたい。

ボランティアの関係については、必要であるという事は強く認識しているところである。平成29年の災害以後、各種ボランティア団体等と市の方で日ごろの繋がりも確保していきたいということも含めて情報共有化会議を毎月行っている。また、ボランティアの方については、朝倉市外であった災害においても支援を続けておられることですので、その場で教えていただいたりしてい

るところ。繋がりを平常時も続けていきたいというところで中間支援組織の話もさせていただいたが、行政としても強く認識を持って今後も意見を言っていきたい。（復興推進室）

- ・桂川の工事が進んでおり、上流からの水が急激に河川を流れてくるようになっており、この4年間3回も水害にあっている。去年危険個所を見てもらって土嚢を積んでくれと出水期前にお願いしていた。しかし、県の担当者が人事異動で交代しておりその工事についてどうなっているのか尋ねているところである。また、工事は着々と進んでいるものであるから、危険個所は毎年変わっているのでも出水期前には良く確認してほしい。（委員）

→市長、副市長による出水期前点検を行う。関係機関に出水期前にどのような対策ができるかというのを具体的に求めていく。土嚢の件についても、県の担当者から危険個所については私たちが聞いているところなので出水期前に対応できるよう伝えていく。（復興推進室）

- ・出水期前一斉点検を5月13日に計画している。
併せて、市長によるヘリコプターでの災害状況の確認を行う予定。（復興推進室）

第5回朝倉市復興推進委員会 配席表

令和3年4月27日(火)
旧甘木・朝倉市町村会館 大会議室

副委員長
筑前あさくら農協
星野 正徳
欠席

委員長
高木地区コミュニティ協議会
手嶋 源五

正・副		委員長	
朝倉商工会議所 窪山 龍輔	委員	松末地域コミュニティ協議会 高倉 保之	委員
朝倉市商工会 重富 千代子		杷木コミュニティ協議会 秦 正育	
朝倉青年会議所 四ヶ所 大輔		久喜宮地域コミュニティ協議会 都甲 精治	
朝倉市小学校PTA連合会 本高 裕美		志波地域コミュニティ協議会 赤星 敏則	
朝倉市中学校PTA連合会 牧野 美和 欠席		朝倉地域コミュニティ協議会 篠崎 英一	
朝倉市女性消防団 石井 千尋		三奈木地区コミュニティ協議会 武田 雄一	
朝倉市社会福祉協議会 半田 芳子		蜷城地区コミュニティ協議会 羽野 斌	
アドバイザー 森田 俊介	委員	筑前あさくら農協 日野 裕子 欠席	委員
朝倉市		朝倉市	
梅田 功	復興推進室長	藤 浩二 郎	総務部付部長
朝倉市		林 裕二	市長
朝倉市		右田 博也 副市長	

朝倉市	朝倉市	朝倉市
事務局	事務局	恒吉 徹 政策監理官